



会報 JAMT

JAPANESE ASSOCIATION OF MEDICAL TECHNOLOGISTS

発行所

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会

発行責任者 宮島喜文

編集責任者 深澤憲治

〒143-0016 東京都大田区大森北4丁目10番7号

TEL (03) 3768-4722 FAX (03) 3768-6722

ホームページ <https://www.jamt.or.jp>

P1 「検体採取等に関する厚生労働省指定講習会」が再開される！！

P2 令和2年度「日臨技精度保証施設認証制度」申請を開始します

P3 2021年度日臨技臨床検査精度管理調査に新規調査項目が追加されました

「検体採取等に関する厚生労働省指定講習会」が再開される！！



講習会当日の様子

検体採取を実施するにあたっては、平成28年4月以前に臨床検査技師養成校に入学し臨床検査技師の免許を取得している者は、あらかじめ厚生労働大臣が指定する研修（以下、指定研修）を受けなければならないとされております。当会では平成27年1月より令和元年12月までの5年間の期限で全国9か所、延べ229回の指定研修を開催し、59,965名が受講されました。しかしながら、病院・診療所に勤務している約3割弱の臨床検査技師が本講習会を未受講の状況にあります。今般の新型コロナウイルス感染症の発生を受けて、令和2年6月2日付けで、厚生労働省医政局医事課長から各都道府県医務主管部局長あてに、「今後、他の流行性感染症を含む、さらなる感染拡大に対応する検査体制の強化のため、普段従事する業務において検体採取を行う予定がない検査技師においても、特段の理由のある場合を除き、あらかじめ指定研修を受講するように」という旨の通知が出されました。当会では、この通知の内容と指定研修の重要性を鑑み、「検体採取等に関する厚生労働省指定講習会」を本格的に再開することとなりました。

先日、再開した検体採取指定講習会について報告させていただきます。11月7日（土）～8日（日）に

TKP田町プレミアムにおいて開催し受講生は267名でした。開催にあたっては、新型コロナウイルス感染症の状況を注視し、会場の収容可能人数に対して受講者数を調整し密にならないように配慮しました。また、会場内では感染対策ガイドラインに沿って手指消毒など、できる限りの感染対策を行ったうえでの開催とさせていただきます。新しい生活様式に沿った実研修会の再開であったため、受講生はもちろんのこと、講師の先生方や実務委員の私たちもかなり緊張した中での講習会となりました。それにもかかわらず、鼻腔からの検体採取の実技まで無事に開催できましたのも受講生と講師の先生方のご協力のお陰であり感謝する次第です。

今後の予定として令和3年3月20日（土）～21日（日）開催分はすでに満席となっておりますが、次回開催を企画しておりますので未受講の皆様はぜひご受講ください。会場・講師の調整がつき次第随時ホームページ上に掲載されますので、受講希望の方は、当会ホームページの下記のバナーからご確認ください。

（担当執行理事 山寺 幸雄）

⇒こちらから講習会案内画面に進み、「講習会に参加を申し込む」をクリックすると申込可能な研修会が表示されます。



※本講習会の修了にはすべてのプログラムの受講が必須です。遅刻・早退等で一部受講ができなかった場合には再受講が必要となります。移動時間などを考慮してお申込みくださいますようお願いいたします。

令和2年度「日臨技精度保証施設認証制度」 申請を開始します

(令和3・4年度認証：認証期間2021年4月1日～2023年3月31日)

当会では「精度保証施設」認証制度を、改正法に則った認証制度への改定の準備を進めております。当初は、今年度より新制度による審査を開始する予定でしたが、新型コロナウイルスの流行に伴う各施設へのご負担を鑑み、開始を1年遅らせることといたしました。

つきましては、この度の認証は現制度に基づくものとし、新制度による申請は令和3年度審査（令和4・5年度認証）よりといたします。臨床検査の重要性に鑑み、是非とも認証申請されますようご案内申し上げます。

I. 日程

1. 申請書類受付期間：令和2年12月1日（火）～令和3年1月29日（金）消印有効
2. 日臨技審査：令和3年2月1日（月）～2月26日（金）
3. JCCLS承認、執行理事会(理事会)審議・承認：令和3年3月中旬（予定）
4. 承認通知・認証料請求書発送：令和3年3月中旬～下旬（予定）
5. 認証書発送：令和3年5月上旬（予定）

II. 申請手順

1. 申請書類は、日臨技ホームページ「『精度保証施設認証制度』の申請書類」欄よりダウンロードしてください。
※申請書類等は令和2年11月下旬より日臨技ホームページからダウンロードが可能です。
2. 申請書（様式1）に必要事項を記入し、申請書式（様式2～6）に資料を揃えて、日臨技へ郵送してください。
3. 日臨技精度管理調査結果「適」書（様式2-1の代用書）は、精度管理調査システム（JAMTQC）からダウンロード可能です。
4. 測定原理・基準範囲・単位一覧表（様式3）は、3.と同時にダウンロード可能です。
5. 内部精度管理基本統計一覧表（様式4）は、JAMTQCに入力済みの場合、3.と同時にダウンロード可能です。
6. 都道府県精度管理調査結果「適」書（様式2-2の代用書）は、JAMTQCを使用して都道府県精度管理調査を実施している場合、JAMTQCからダウンロード可能です。

III. 申請書類送付先

〒143-0016 東京都大田区大森北4丁目10番7号
一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会
精度保証施設認証 担当 宛

IV. 申請費用

46,296円（消費税別）

※申請費用には、別途10%の消費税がかかります。

審査承認後、認証の合格通知と請求書が送付されます。

2021年度日臨技臨床検査精度管理調査に 新規調査項目が追加されました

甲状腺ホルモンの状態を把握するためのマーカー「TSH(甲状腺刺激ホルモン)と FT4(遊離サイロキシン)の2項目

2020年度に中規模トライアルを実施し、その試料の有効性を確認できた2項目について、本サーベイの調査項目として採用することとしました。これに伴い今までの13コースに1コース追加する形で、「参加番号：S1」コースを設けました。このコースは②免疫血清の試料には含まれません。なお、セット「参加番号：11」、「参加番号：12」、および「参加番号：13」には含まれませんのでご注意ください（参加費12,000円）。

皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

《参加コース追加》

TSH（甲状腺刺激ホルモン）、FT4（遊離サイロキシン）2項目を新規調査項目に追加します。

2020年度日臨技臨床検査精度管理調査 参加コース

参加番号	実施項目	参加費 (税抜)
1	基本項目(①臨床化学、②免疫血清、③血液、④一般)	22,222円
2	微生物A(グラム染色、フォトサーベイ)	3,704円
3	微生物B (グラム染色、細菌同定2種、細菌薬剤感受性2種、フォトサーベイ)	12,963円
4	輸血A(ABO血液型、RhD血液型)	13,889円
5	輸血B (ABO血液型、RhD血液型、不規則抗体スクリーニング、同定試験、試験)	16,667円
6	遺伝子A(結核菌群定性)	11,111円
7	遺伝子B(HCV定量、HBV定量)	14,815円
8	生理	1,852円
9	細胞	1,852円
10	病理	1,852円
11	1 + 3 + 5 + 8 + 9 + 10	51,852円
12	11 + 6	59,259円
13	12 + 7	74,074円



2021年度日臨技臨床検査精度管理調査 参加コース

参加番号	実施項目	参加費 (税抜)
1	基本項目(①臨床化学、②免疫血清、③血液、④一般)	22,222円
2	微生物A(グラム染色、フォトサーベイなど)	3,704円
3	微生物B (グラム染色、細菌同定2種、細菌薬剤感受性2種、フォトサーベイなど)	12,963円
4	輸血A(ABO血液型、RhD血液型)	13,889円
5	輸血B (ABO血液型、RhD血液型、不規則抗体スクリーニング、同定試験、試験)	16,667円
6	遺伝子A(結核菌群定性)	11,111円
7	遺伝子B(HCV定量、HBV定量)	14,815円
8	生理	1,852円
9	細胞	1,852円
10	病理	1,852円
11	1 + 3 + 5 + 8 + 9 + 10	51,852円
12	11 + 6	59,259円
13	12 + 7	74,074円
S1	免疫血清(甲状腺項目:TSH、FT4)	12,000円

(編集後記) 今回の内容は、検体採取の講習会が再開されたことと日臨技施設認定制度の申請と精度管理調査項目の追加でした。検体採取講習会同様に屋外ではありますが、新型コロナウイルス感染対策ガイドラインを遵守して草野球の練習試合を行いました。センターラインに現役バリバリの3人を入れるとまるで別のチームに変身して5対3で勝つことができました。心地よい汗をかき、勝った喜びで心身共にリフレッシュできました。しかし、筋肉痛は未だにとれません。各自リフレッシュの方法を考え実践してください。

(竹浦)